

グリーンインフラ(川内川水系かわまちづくり等)の推進

第9回 川内川水系流域治水協議会

自然環境が有する多様な機能活用の取り組み

グリーンインフラの取り組みの1つとして、小中学校などにおける河川環境学習(水生生物調査)を実施
 ○16団体延べ451人が環境学習として、水生生物調査に参加
 (川内川概要・水質調査・水生生物調査・とりまとめ発表)



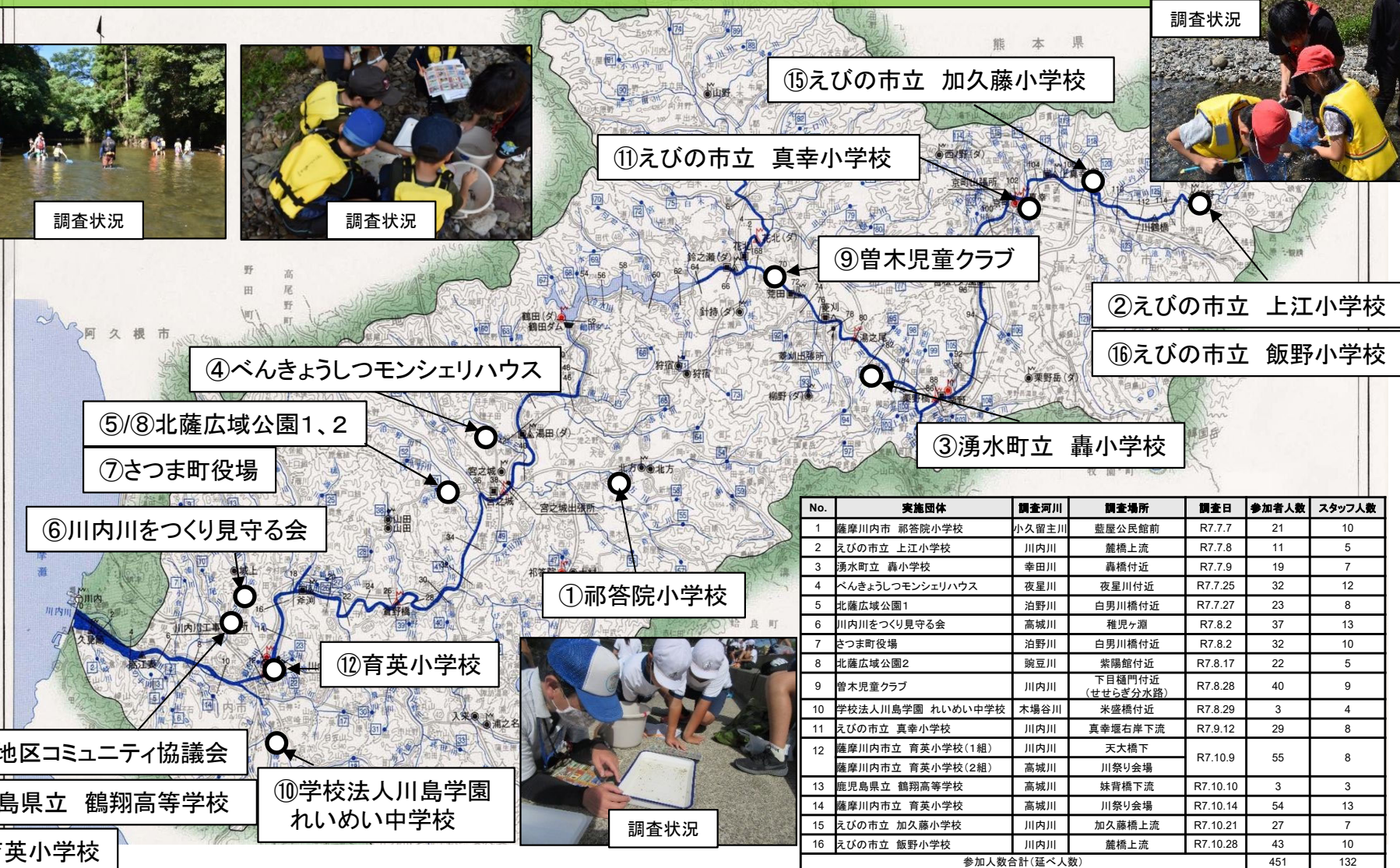
調査状況



調査状況



調査状況



調査状況

No.	実施団体	調査河川	調査場所	調査日	参加者人数	スタッフ人数
1	薩摩川内市 祁答院小学校	小久留主川	藍屋公民館前	R7.7.7	21	10
2	えびの市立 上江小学校	川内川	麓橋上流	R7.7.8	11	5
3	湧水町立 轟小学校	幸田川	轟橋付近	R7.7.9	19	7
4	べんきょうしつモンシェリハウス	夜星川	夜星川付近	R7.7.25	32	12
5	北薩広域公園1	泊野川	白男川橋付近	R7.7.27	23	8
6	川内川をつくり見守る会	高城川	稚児ヶ淵	R7.8.2	37	13
7	さつま町役場	泊野川	白男川橋付近	R7.8.2	32	10
8	北薩広域公園2	豌豆川	紫陽館付近	R7.8.17	22	5
9	曾木児童クラブ	川内川	下目樋門付近 (せせらぎ分水路)	R7.8.28	40	9
10	学校法人川島学園 れいめい中学校	木場谷川	米盛橋付近	R7.8.29	3	4
11	えびの市立 真幸小学校	川内川	真幸堰右岸下流	R7.9.12	29	8
12	薩摩川内市立 育英小学校(1組)	川内川	天大橋下	R7.10.9	55	8
13	薩摩川内市立 育英小学校(2組)	高城川	川祭り会場			
14	鹿児島県立 鶴翔高等学校	高城川	妹背橋下流	R7.10.10	3	3
15	薩摩川内市立 育英小学校	高城川	川祭り会場	R7.10.14	54	13
16	えびの市立 加久藤小学校	川内川	加久藤橋上流	R7.10.21	27	7
17	えびの市立 飯野小学校	川内川	麓橋上流	R7.10.28	43	10
参加人数合計(延べ人数)					451	132

川内川水系かわまちづくり計画

国土交通省

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

Press Release

令和 6 年 8 月 8 日
九州地方整備局
川内川河川事務所

「川内川水系かわまちづくり計画」を変更しました

「川内川水系かわまちづくり計画」は、川内川の安全な河川利用や川内川流域全体の地域活性化を図ることを目的に水系一貫の計画として平成 29 年 3 月に策定し、流域 5 市町や地域住民と連携して全 14 箇所の河川環境整備事業を推進してきたところです。

令和 6 年 8 月 8 日付けで、「川内川水系かわまちづくり」計画に新たに到来麓地区（薩摩川内市）を追加登録しましたのでお知らせいたします。

今後は、これまでの整備箇所を含め、全 15 箇所のかわまちづくりに取り組んでいきます。

また、以下の通り、鹿児島県、薩摩川内市と登録証の手交式を開催いたします。

◆手交式

日時 令和 6 年 9 月 6 日（金）13 時 30 分から

場所 薩摩川内市役所 市長応接室（4 階）

川内川水系かわまちづくり（変更）・・・別紙 1

参考：かわまちづくり支援制度の概要・・・参考

<かわまちづくり HP: <https://www.mlit.go.jp/river/kankyo/main/kankyoku/machizukuri/>>

事前申し込み：取材希望の報道機関は、別紙 2「事前申込書」をご提出ください。

問い合わせ先：国土交通省九州地方整備局

川内川河川事務所

技術副所長 中原 寛人

流域治水課長 永谷 恵一

電話：0996-22-3359（直通）

川内川河川事務所ホームページ：<https://www.qsr.mlit.go.jp/sendai/>

「川内川水系かわまちづくり」（変更）

別紙 1

（鹿児島県：薩摩川内市、さつま町、伊佐市、湧水町、宮崎県：えびの市）

対象河川：一級河川 川内川水系川内川・樋脇川 【国・県管理河川】

市町村名：鹿児島県薩摩川内市、さつま町、伊佐市、湧水町、宮崎県えびの市

推進主体：薩摩川内市、さつま町、伊佐市、湧水町、えびの市

1. 概要

川内川流域では、川内川沿川 3 市 2 町が連携し、流域一体となって、川内川を軸としたかわまちづくりを推進しています。これまでの整備や利活用等を通じ、観光資源などを活かして新たに箇所を追加したいというニーズが高まっています。追加箇所等も含め、舟と自転車を特色としたかわまちづくりを推進し、観光を主軸とした川内川ブランド構築も目指し、地域活性化・観光振興に取り組んでいます。

国土交通省と鹿児島県では、この取組に対し、必要な河川管理施設の整備のほか、河川空間において営利活動を実施する場合には、河川敷地占用許可準則第 22 条に基づく、都市・地域再生等利用区域の指定等の支援を実施していきます。

2. ハード施策の内容

国土交通省：管理用通路、高水敷整正、階段護岸等 関係市町：駐車場、案内看板、トイレ等

鹿児島県：石積護岸、管理用通路等

3. ソフト施策の内容

国土交通省、鹿児島県・都市・地域再生等利用区域の指定 等 関係市町：パンフレットの作成 等



※今後、工事実施のための詳細な設計等を実施することにより、実施内容を変更する場合があります。

樋脇川グリーンインフラの取組

（鹿児島県）

統合河川環境整備事業

事業計画

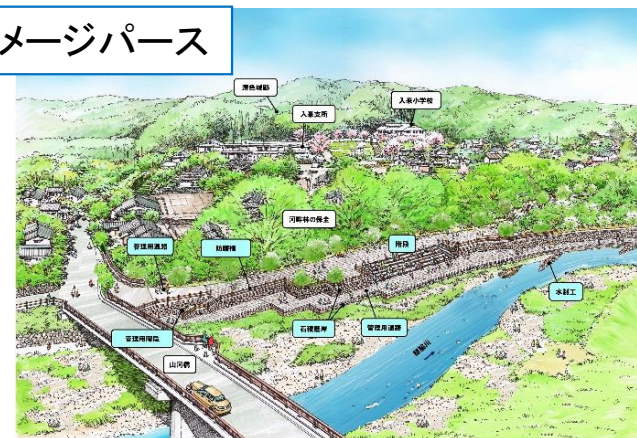
【全体計画】

河川名 : 一級河川川内川水系樋脇川
 事業内容 : 石積護岸 L=370m・管理用通路 L=370m・水制工 6箇所
 事業期間 : R7～R11
 施工地 : 薩摩川内市

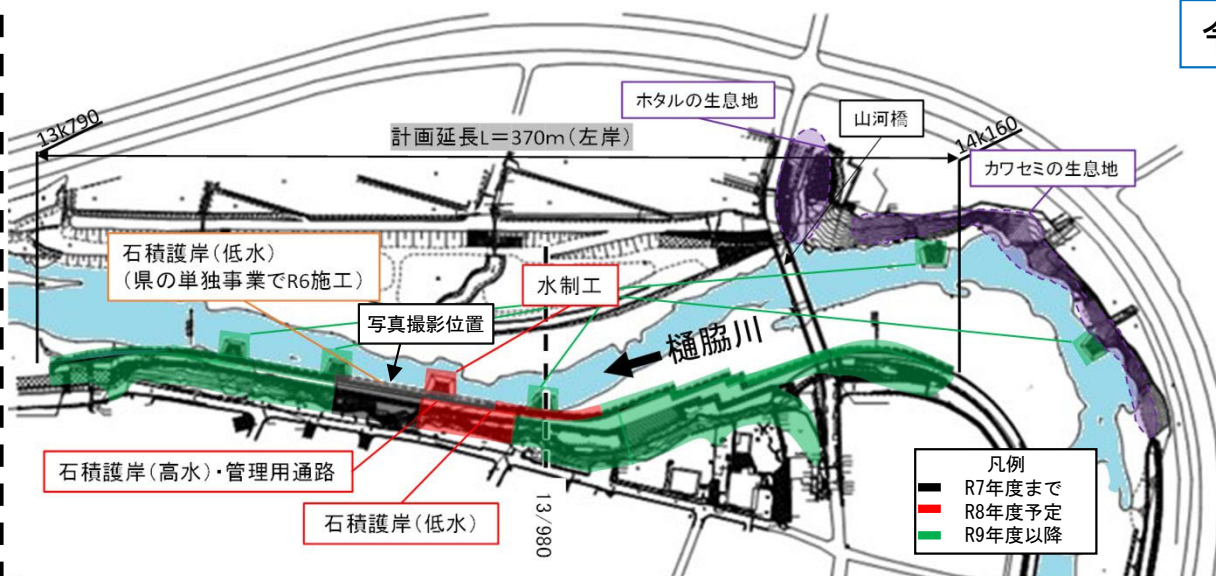
【令和8年度当初】

事業内容 : 石積護岸（低水）L=80m・石積護岸（高水）L=40m
 管理用通路 L=40m・水制工 1箇所
 事業費 : 90百万円

イメージパース



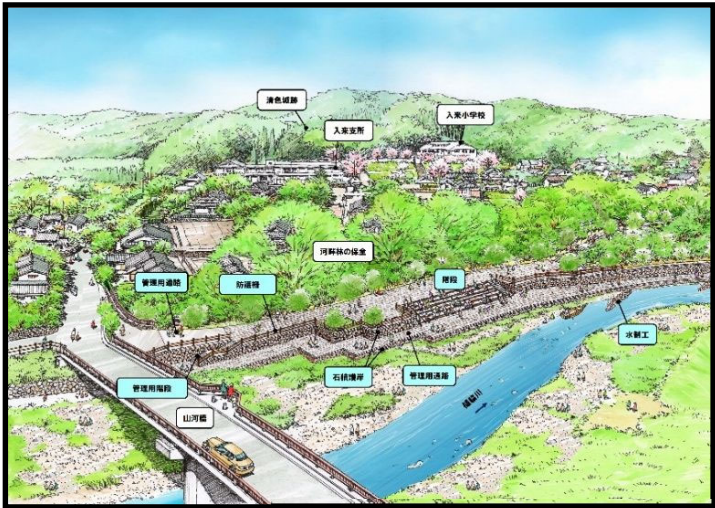
平面図・横断図



令和8年3月末現在



地域未来交付金事業

申請者	鹿児島県							
事業計画期間	R7-R11年度							
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	✓	事業分野（大項目）	豊かな生活環境分野
目的・効果	- 古くから地域の営みに密接に関係し、各々の地域に当たり前にある河川とまちとが一体となり、景観、歴史、文化、自然環境等その地域特有の資源や、地域の創意に富んだ知恵を活かし、あらゆる関係者が協働しながら、地域の新たな価値を見出し、向上させる取組を推進。 - 他の地域にない「個性を生かした地域づくり・交流の促進」や「観光の「稼ぐ力」の向上」を図る。							
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR8年度事業費	【事業概要】 甲突川や樋脇川をモデル地区として、事業推進体制を構築し、「川床」等の社会実験等を実施しながら、水辺の利活用に対する地域の意欲・熱意向上、また民間事業者の興味関心を喚起し、地域が主体となり、水辺と地域資源を融合した他にはない魅力ある地域づくりを推進。 また、社会実験等の検討結果を踏まえながら、河川を安全かつ円滑に利用できるよう、護岸整備や河道掘削等を実施。					樋脇川のイメージ （水辺空間と地域の歴史・文化が核となり賑わいを創出） 		
	【ソフト事業】 水辺×地域資源による魅力ある地域づくりに向けた事業推進主体組成、社会実験（イベントの開催等）・市場調査、事業構想・計画立案、広報・PR ・委託費 30,000千円（うち薩摩川内市10,000千円） 【インフラ整備事業】 水辺に親しみ、かつ安全に利用できるようにする護岸整備、河道掘削等 ・工事請負費 30,000千円					※統合河川環境整備事業での事業区間外での整備を計画		

天辰地区かわまちづくりの状況

(薩摩川内市)

地元住民においてR元年度に勉強会、検討会を開始され、令和4年3月に「平佐西かわまちづくり協議会」を設立。河川空間の整備メニューの検討や利活用の方策などを議論。

令和7年には河川空間の愛称を公募し「平佐リバーパーク」と命名され、令和8年4月末から平佐西地区コミュニティ協議会が管理運営を開始。



R 8.4.24
維持管理協定調印式



R 8.4.28
オープニングセレモニー

平佐西かわまちづくり協議会 活動状況

●協議会設立に向けた活動

- 第1回(R 1. 6. 13~14) 先進地視察(筑後川、球磨川)
- 第2回(R 1. 8. 26) かわまちづくり出前講座(市建設政策課講師)
- 第3回(R 1. 10. 9) 関係団体との検討会
- 第4回(R 1. 11) 参画希望者募集(平佐西コミだより11月号)
- 第5回(R 1. 11. 19) 河川敷活用に関する意見交換
- 第6回(R 2. 7. 8) かわまちづくりに関する市との協議
- 第7回(R 2. 8. 26) 河川改修計画・整備状況の説明会
- 第8回(R 2. 10. 4) ★第1回準備会(整備メニュー抽出)
- 第9回(R 2. 12. 23) ★第2回準備会(ゾーンイメージ案検討)
- 第10回(R 3. 2. 19) 天辰河川敷き視察(管理運営の課題抽出)
- 第11回(R 3. 3. 19) かわまちづくり計画変更(河川事務所公表)
- 第12回(R 3. 12. 16) 先進地視察(伊佐市、えびの市)
- 第13回(R 4. 1. 27) 協議会発足に向けた事前協議

●平佐西かわまちづくり協議会

- 第1回(R 4. 3. 14) 協議会設立
- 第2回(R 5. 3. 22) 整備計画素案の承認
- 第3回(R 6. 3. 19) 施設整備・備品計画の承認
- 第4回(R 6. 4. 24) 宮野前会長を委員追加(地域住民代表)【書面】
- 第5回(R 6. 11. 25) 現場視察・愛称募集の承認
- 第6回(R 7. 3. 18) 愛称決定
- R 8. 4. 24 維持管理協定調印式
- R 8. 4. 28 平佐リバーパークオープニングセレモニー

●平佐西かわまちづくり協議会 作業部会(ワークショップ形式)

- 第1回(R 4. 6. 15) 整備メニュー・イメージ案検討
- 第2回(R 4. 8. 19) 4部会別での整備案、利活用案の検討
- 第3回(R 4. 10. 25) 階段トイレ倉庫の設置検討、維持管理手法検討
- 第4回(R 4. 12. 26) 整備計画素案の検討、維持管理方針検討



令和8年3月撮影



トイレ棟



倉庫棟



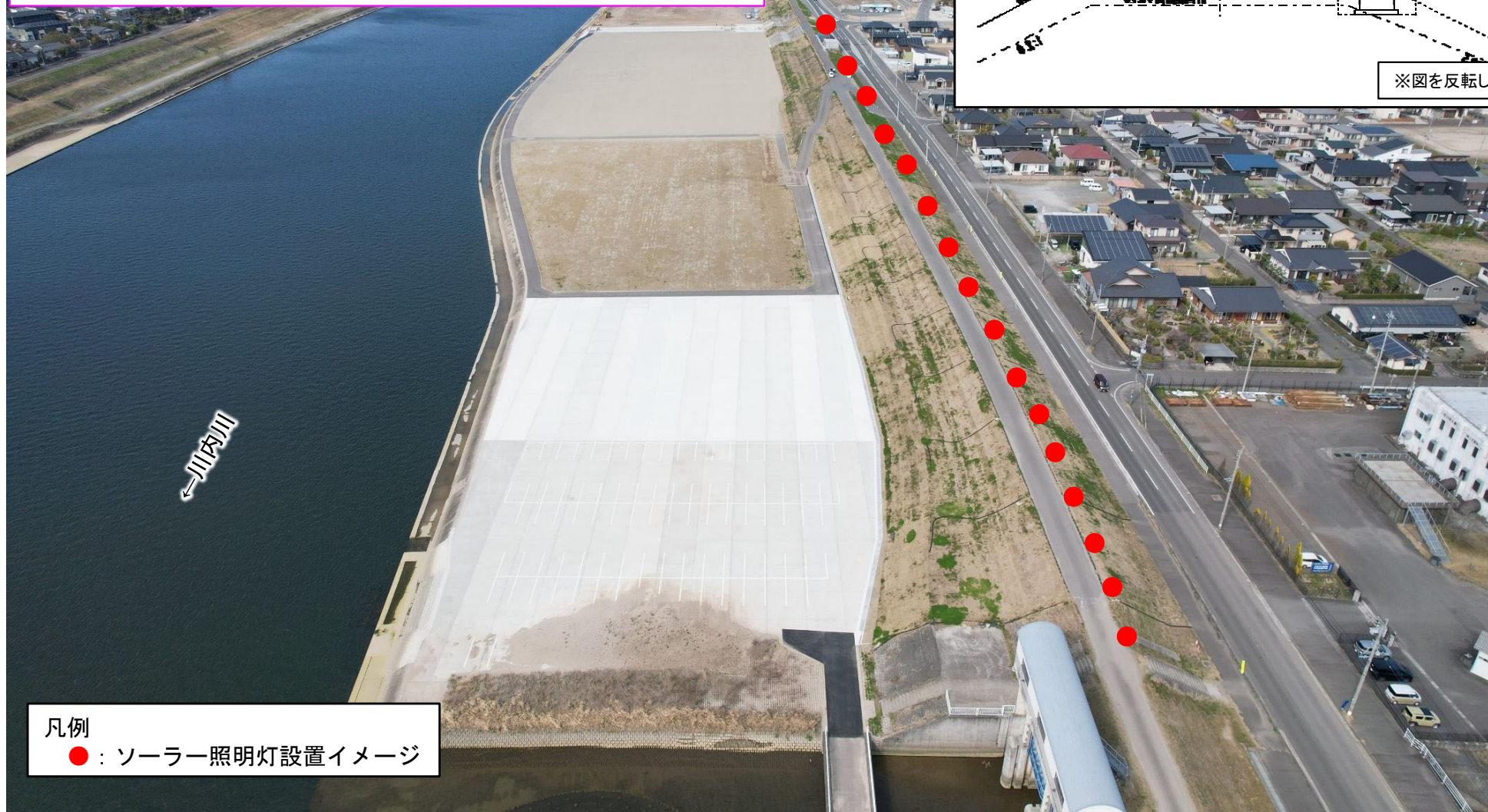
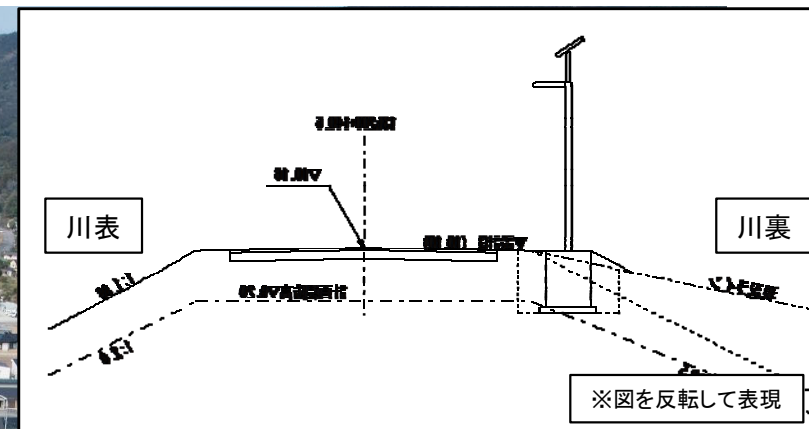
案内看板

この他
乗用草刈り機等の
管理運営備品を整備

令和7年度実施内容

歩行者が夜間、安全に、安心して歩行
できるよう、照明灯を設置予定。

令和8年度事業予定
ソーラー式照明灯 N=16基



凡例

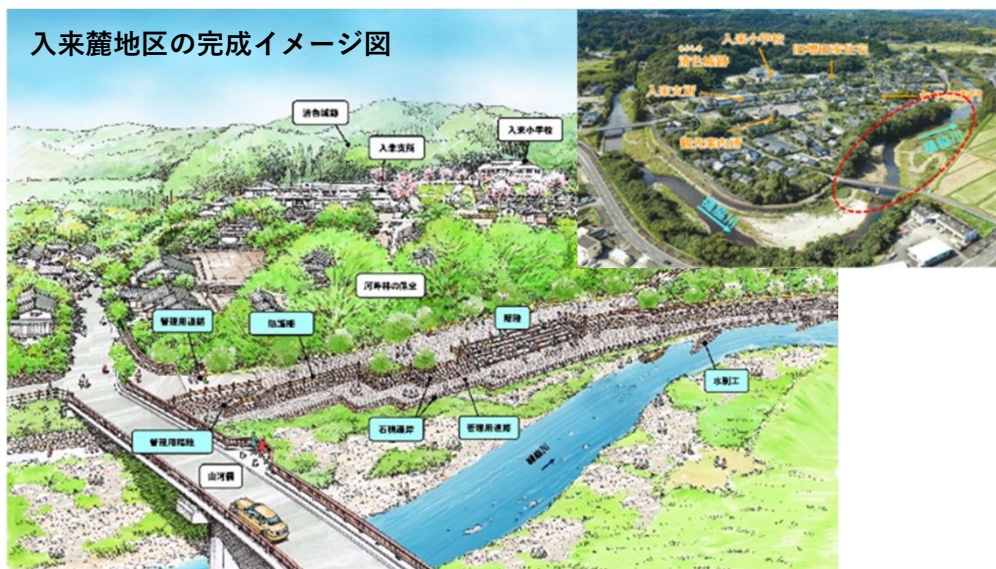
● : ソーラー照明灯設置イメージ

入来麓地区かわまちづくりの状況

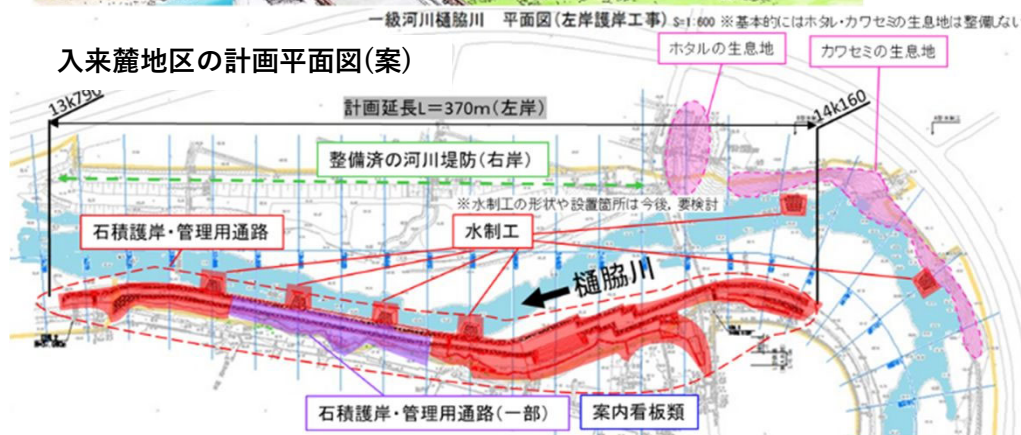
(薩摩川内市)

R2年度から地域の方々との意見交換を実施し、R6年度に追加登録。本市4箇所目、県内初の県管理河川の登録であり、国県管理河川が同一計画に盛り込まれた計画登録は九州初。

入来麓地区の完成イメージ図



入来麓地区の計画平面図(案)



入来麓地区かわまちづくり これまでの経緯

●要望活動など

- R1.5 左岸浸食と市道ひび割れ確認
- R1.6.12 清色地区コミと保存会連名で市に対し護岸整備要望
- R1.7.18 市から県に対し護岸整備要望進達
- R3.2.26 入来地区コミ連絡協議会から市に対し景観整備要望
- R3.4.13 市から県に対し景観整備要望進達

●リバーフロント整備事業(R3～)

- R2.12.17 地元団体代表者とのワークショップ形式意見交換会
- R3.3.20 景観整備に対する地元意向確認(地元説明会)
- R5.1.21 地元団体代表者への事業(河川整備計画等)説明会
- R6.2.25 設計内容等に対する地元合意(地元説明会)
- R6.6.10 県市による維持管理協定に伴う覚書締結

●河川環境整備事業(かわまちづくり)(R7～)

- R6.6.11 第6回川内川水系かわまちづくり推進協議会(会承認)
- R6.8.8 計画変更登録(入来麓地区追加)通知
- R6.9.6 変更登録証伝達式
- R6.10.17 事業移行に対する地元合意(地元説明会)

●地域未来交付金(旧第2世代交付金)事業

水辺×地域資源を核にした個性ある地域づくり・

交流の促進・観光の「稼ぐ力」の向上

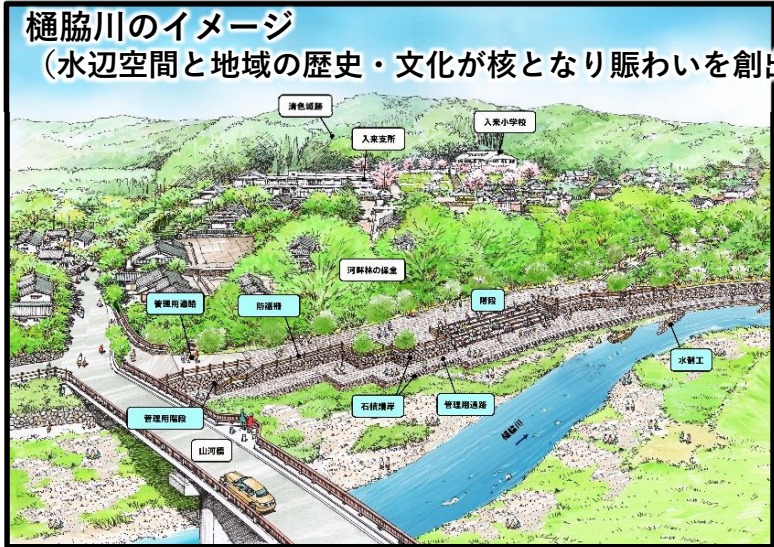
ハード整備(県:R7～)ソフト事業(市:R8～)

→水辺と地域資源を活用した地域づくりの社会実験、河川整備等を行い、持続可能なまちづくりを行う



意見交換会開催
(R8.1.29)

水辺×地域資源を核にした個性ある地域づくり・交流の促進・観光の「稼ぐ力」の向上

申請者	鹿児島県					初回採択回	令和7年度第2回募集
事業計画期間	R7～R11年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	240,000千円 (60,000千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	✓	事業分野（大項目） 豊かな生活環境分野
目的・効果	・古くから地域の営みに密接に関係し、各々の地域に当たり前にある河川とまちとが一体となり、景観、歴史、文化、自然環境等その地域特有の資源や、地域の創意に富んだ知恵を活かし、あらゆる関係者が協働しながら、地域の新たな価値を見出し、向上させる取組を推進。 ・他の地域にない「個性を生かした地域づくり・交流の促進」や「観光の「稼ぐ力」の向上」を図る。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR8年度事業費	【事業概要】 甲突川や樋脇川をモデル地区として、事業推進体制を構築し、「川床」等の社会実験等を実施しながら、水辺の利活用に対する地域の意欲・熱意向上、また民間事業者の興味関心を喚起し、地域が主体となり、水辺と地域資源を融合した他にはない魅力ある地域づくりを推進。 また、社会実験等の検討結果を踏まえながら、河川を安全かつ円滑に利用できるよう、護岸整備や河道掘削等を実施。						
	【ソフト事業】 水辺×地域資源による魅力ある地域づくりに向けた事業推進主体組成、社会実験（イベントの開催等）・市場調査、事業構想・計画立案、広報・PR ・委託費 30,000千円 【インフラ整備事業】 水辺に親しみ、かつ安全に利用できるようにする護岸整備、河道掘削等 ・工事請負費 30,000千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①年間交流人口数(+5,120人) ②来訪者満足度（+90%） ③自治会等加入率（+3%） ④地域主体の社会実験数（+8件）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	http://www.pref.kagoshima.jp/ac11/kensei/keikaku/chihousousei/sougousenryaku.html

ほたる再生の取り組み状況

（さつま町）

ほたる再生の取り組み(さつま町)

背景

- 川内川流域(さつま町)、全国有数のホタル観賞地であり、一級河川でホタルが群舞するのは全国的に珍しく、さつま町を代表する観光資源となっている。
- 現在、さつま町全体でホタルの個体数が減少しており、ホタル舟の運営スタッフの高齢化も相まって二渡ホタル舟は令和5年シーズンで活動を終了することになった。
- 水辺環境の保全・創出、ほたるを中心とした観光資源を増やすことを目的に「ほたる再生プロジェクト協議会(R6.5.20)と幹事会(第1回R6.8.20、第2回R6.10.25)」を開催。



▼ほたる再生プロジェクト協議会設立(R6.5.20)



▼ほたる再生プロジェクト協議会幹事会開催



R6.10.25第2回幹事会



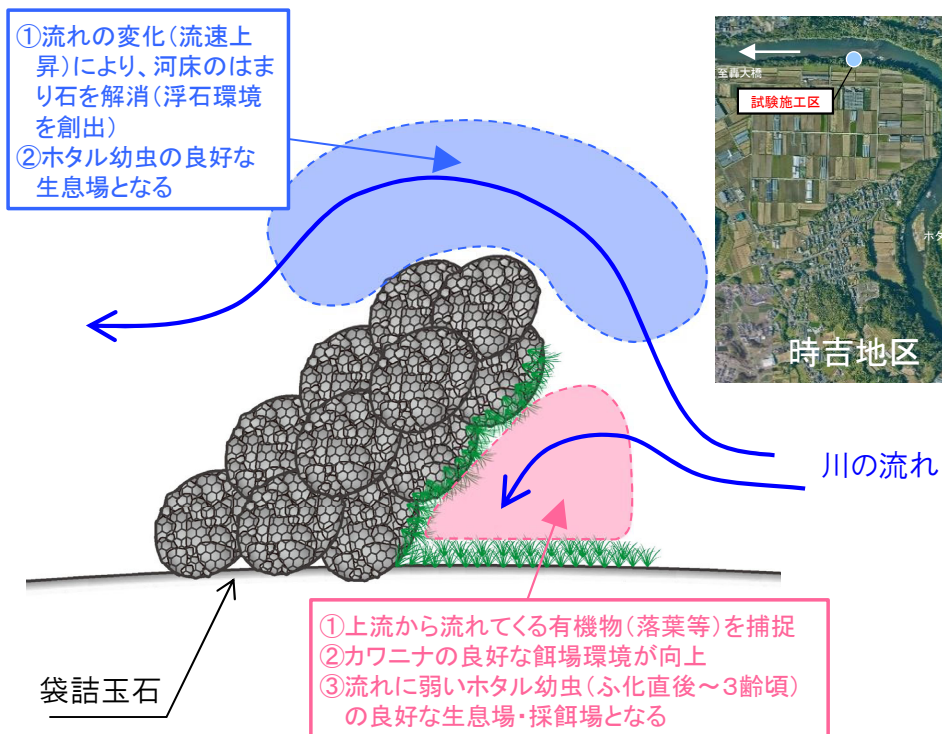
渡辺教授(福岡大学)
現地視察状況

▼ほたる再生プロジェクト協議会委員

職名	所属等	備考
会長	さつま町長	
副会長	国土交通省九州地方整備局川内川河川事務所長	
委員	鹿児島県北薩地域振興局総務企画部長	
委員	国土交通省九州地方整備局鶴田ダム管理所長	
委員	電源開発(株)南九州電力所長	
委員	さつま町副町長	幹事会委員
委員	国土交通省九州地方整備局川内川河川事務所技術副所長	幹事会委員
委員	国土交通省九州地方整備局川内川河川事務所宮之城出張所長	幹事会委員
委員	国土交通省九州地方整備局鶴田ダム管理所専門官	幹事会委員
委員	鹿児島県北薩地域振興局河川港湾課長	幹事会委員
委員	鹿児島大学水産学部教授	幹事会委員
委員	川内川漁業協同組合組合長	幹事会委員
委員	奥薩摩ホタルを守る会会長	幹事会委員
委員	二渡がらっぱボタルの会	幹事会委員
委員	公益財団法人かごしま環境未来財団理事兼事業課長	幹事会委員
委員	学識経験者	幹事会委員
委員	さつま町女性団体連絡協議会	幹事会委員
委員	さつま町総合政策課長	幹事会委員
委員	さつま町町民環境課長	幹事会委員
委員	さつま町教育委員会教育総務課長	幹事会委員
委員	さつま町教育委員会学校教育課長	幹事会委員
事務局員	国土交通省九州地方整備局川内川河川事務所流域治水課長	
事務局員	国土交通省九州地方整備局川内川河川事務所流域治水課専門官	
事務局員	さつま町さつまPR課長	
事務局員	さつま町さつまPR課商工観光係長	
事務局員	さつま町さつまPR課商工観光係	

時吉地区試験施工

- 川の流れに変化をつけることや上流からの有機物(落ち葉等)を捕捉することを目的として、さつま町時吉地区において袋詰玉石を用いた水制工を試験的に施工した。



袋詰玉石による水制工の設置イメージ



水制工設置状況



水制工設置状況



現地視察の状況(令和8年2月17日)

かわまちづくり利活用状況



(伊佐市)

湯之尾地区(伊佐市)



利用状況

いさドラゴンカップ開催

日時:2025年4月27日(日)

場所:鹿児島県伊佐市 伊佐市菱刈カヌー競技場

伊佐市菱刈カヌー競技場で4月27日、いさドラゴンカップが開催され、奄美大島をはじめ県内外から58チーム約1,200人の多くの人々が集まりました。フードコーナーなどドラゴンカップ以外の催しも盛り上がっていました。



その他の主な活動

国体記念伊佐市ドラゴンボート大会(7/27)

パラチャレンジカヌー体験(10/13)

県民スポーツ大会カヌー競技(10/19)

河川清掃活(11/30)

冬季カヌー合宿(12/26-28)

お花見ドラゴンボートミーティング(3/29)

など

いさドラゴンカップ2025



受賞者には伊佐市の名産品
(お米や焼酎など)が贈られました。



水辺へのアクセス性と共に利用の際の安全性が向上したことで、カヌーやボート、パークゴルフなど、多くの方々に利用していただいています。

かわまちづくり利活用状況

（湧水町）

轟地区(湧水町)

利用状況

令和7年度国スポ九州ブロック大会、カヌー川下り体験会及び SAGA2024国スポ開催状況



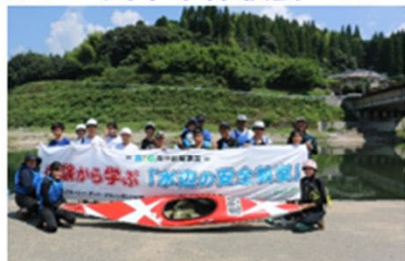
■ 湧水町轟地区かわまちづくり

平成29年度～令和5年度にかけてかわまちづくり整備を行い、カヌー競技大会や川下り体験等が実施されるなど、安全で円滑な利用促進が図られました。

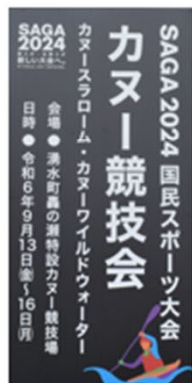
国スポ第45回九州ブロック大会 令和7年5月18日(日)



カヌー川下り体験会 令和7年8月16日(土)



2024 SAGA国スポ 令和6年9月13日(金)～9月16日(月)



カヌー艇庫前では出店も！

Ⅰ カヌー競技種目



▼ スラローム CANOE SLALOM

流れのあるコースに設置されたゲート
を通過し、所要タイムとポイントの加
算で順位が決定します。



CANOE

▼ ワイルドウォーター WILDWATER

岩などの障害をかわしながら、流れの激
しい川を一気に漕ぎ下り所要タイムで順
位を競います。



京町温泉地区かわまちづくりの状況

（えびの市）

京町温泉地区かわまちづくり

「えびの市の魅力をかかわとまちでつなぎ、
住民参加型の持続可能なかわまちづくりの実現」
～「アウトドアシティえびの」の更なる活性化を目指して～



R4. 8 官民連携(コカ・コーラ)イベント (第1回社会実験)



R4. 10 キャンプイベント (第2回社会実験)



R7. 7 京町温泉花火大会



R7. 10 スパークフェスイベント



京町温泉地区かわまちづくり

令和7年4月撮影



移動式水洗トイレ



手足洗い場



水難補助救命具

令和7年7月 京町温泉夏祭り花火大会開催

整備内容

7月19日 川内川河川敷（京町温泉地区）において、えびの京町温泉夏祭り花火大会が開催されました。約3,000発の花火がえびのの夜空を彩り、近距離で打ち上げられる花火は迫力満点でした！また、ステージイベント、神輿や露店など楽しい催しが盛りだくさんで市内外から多くの人で賑わいました。

会場の様子



令和7年8月 キャンプ場スパーク グランドオープン

整備内容

8月2日 川内川河川敷（京町温泉地区）において、社会実験として4月から無料で開放してたキャンプ場を、8月2日に正式に京町河川公園キャンプ場「スパーク」としてグランドオープンしました。

利用しやすいようオートフリーサイトで運用し、家族ずれやアウトドア愛好者からも親しまれています。



場内の様子



かわと温泉街のキャンプ場

KYOMACHI CAMPING VILLAGE
Spark

京町河川公園キャンプ場「スパーク」
2025年8月2日(土)
GRAND OPEN

料金

- デイキャンプ(日帰り) …… 1組/1,500円
※車1台、車両1台まで
- 入場料(小学生以上) …… 1人/100円
※未就学児以下は無料
- 1泊2日(宿泊) …… 1組/2,000円
※車両1台、テント1張、タープ1張まで
- 入場料(小学生以上) …… 1人/200円
※未就学児以下は無料

土・日のみ利用可
ご利用時間/9:00~16:00まで

金・土・日のみ利用可
チェックイン/14:00~16:30まで
チェックアウト/11:00まで

ご予約
お問い合わせ
0984-48-7650

アウトドアステーションえびの
電話受付時間/9:00~18:00【定休日:毎月第3水曜日】
※休日の場合は、100%11番の緊急対応の体制です。予約サイトはこちら

■キャンプ場 運営・管理団体: NPO法人KRAP(のらっぷ)

令和7年9月 えびのスプラッシュフェス～温泉水をぶっ放せ～開催

整備内容

9月14日 川内川河川敷（京町温泉地区）において、京町温泉活性化プロジェクトの一環として、地元の飯野高校生が発案した『えびのスプラッシュフェス』が開催されました。水鉄砲の水に京町温泉の温泉水を使用し、選手全員が、金魚すくいの「ポイ」を頭につけて水鉄砲で撃ち合いました。当日は、県外からのチーム参加もあり、大いに賑わいました。



EBINO SPLASH FES
先着20チーム限定です!!
温泉水をぶっ放せ!!
2025 9/14 (日曜日)
小雨決行、荒天時は中止いたします。

会場 京町地区河川公園(多目的広場)
時間 受付: 午前8時30分～午前9時
競技開始: 午前10時～
終了: 午後1時ごろを予定

参加費
●小学生～高校生まで 1人 500円、大人1人 1000円
●中学生～高校生まで 1人 500円、大人1人 1000円

参加条件
●1チーム20名まで(20名を超えた場合は参加不可)
●参加申込は下記の専用フォームから入力してください。
●参加申込締切は9月10日(金)18時(9月11日)まで

持ち物
●水鉄砲(電動型は 筒ばね式 筒長55cm以下)
●ポイ(金魚すくい)
●タオル、飲み物、運動靴
●水鉄砲(電動型は 筒ばね式 筒長55cm以下)

主催 スプラッシュフェス実行委員会(飯野高等学校内)
共催 えびの市観光協会 協力 京町温泉活性化プロジェクト・NPO法人KRAP

お問い合わせ えびの市観光協会 TEL 0984-35-3838 FAX 0984-35-2488



令和7年10月 スパークフェス開催

整備内容

10月12日 川内川河川敷（京町温泉地区）において、公園管理者のNPO法人KRAPが主催し、初イベント『スパークフェス』が開催されました。出店やワークショップ、アクティビティ体験などのデイイベント、キャンプ場ならではのナイトイベントと、昼夜にかけてアウトドアイベントが企画され、多くの来場者でにぎわいを見せました。



OUTDOOR Spark Fes スパークフェス

京町の河川公園にて「スパークフェス」を開催します。当日は、古着や雑貨のフリーマーケットや様々なワークショップ体験、アクティビティ体験など盛りだくさん!!
さらに、キャンプ場ではナイトイベントも開催します。ぜひ、遊びにお越しください。

DATE 2025 10/12 **入場無料**

場所 京町温泉地区河川公園「スパーク」
多目的広場 [小雨決行・荒天中止]
※駐車場は会場内、会場周辺にもあります。

Day Event [10:00-15:00]

- 古着 & ハンドメイド雑貨のフリマ
- ワークショップ(KIBORIYAほか)
- キッチンカー、飲食店多数
- カヌー体験(有料)
- ヒルクライムアース展示

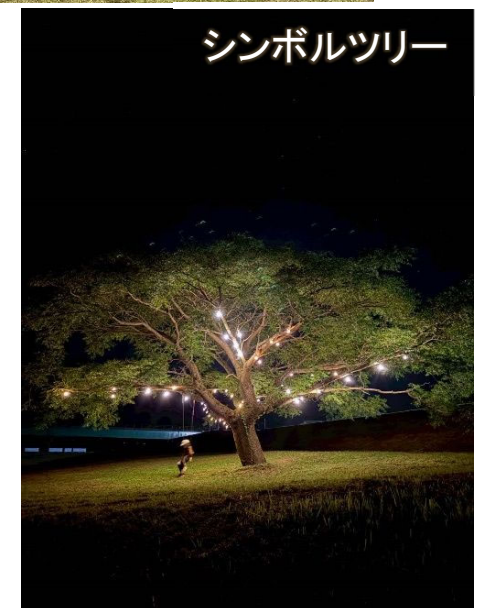
Night Event [18:00-21:00]

- バルキャンプ
- 地元酒造メーカーの試飲コーナー
- シンボルツリーのライトアップ

オープン記念
キャンプ場は、えびの市在住の方に限り利用料が半額

主催：NPO法人KRAP(クラブ) 共催：えびの市役所、国土交通省九州地方整備局川内川(川内川)事務所、川内川(川内川)水害がわまちづくり推進委員会、えびの市カー協会、アウトドアステーションえびの、えびの市観光協会
【お問い合わせ先】えびの市観光工課観光係 0984-35-1114(直通)

キャンプ場のご予約お問い合わせ 0984-48-7650
受付時間 9:00~18:00(受付日：毎月第3火曜日)
※予約受付は、10月11日(土)までです。



京町温泉地区かわまちづくり(オープン化)

○河川空間のオープン化 = 都市・地域再生等利用区域への指定

通常は河川を営利目的で使えないので
利用形態が限定される

→公園や遊歩道、地域のイベントにのみ使用可



都市・地域再生等利用区域へ指定されることで
事業者による営利活動が可能に！

(例) カフェ、レストラン、キャンプ場等

年度	月	開催数	主なスケジュール
R6	10月	第1回	えびの地区京町地区河川公園周辺地域活性化推進協議会 第1回会議 これまでの取り組みについて（工事状況、利用状況） 河川空間オープン化について
	11月	第2回	えびの地区京町地区河川公園周辺地域活性化推進協議会 第2回会議 社会実験募集要項について
	1月	第3回	えびの地区京町地区河川公園周辺地域活性化推進協議会 第3回会議 応募事業者の審査、選定
R7	4月		社会実験スタート

オープン化までの手続き

「えびの京町地区河川公園周辺地域活性化推進協議会」立ち上げ社会実験事業者を公募

社会実験を実施し、実現可能性を判断

「都市及び地域の再生等のために利用する施設に係る占用の特例」の地域合意

「都市・地域再生等利用区域」を申請
(えびの市長→整備局長)

「都市・地域再生等利用区域」に指定

「えびの京町地区河川公園周辺地域活性化推進協議会」で民間事業者を公募

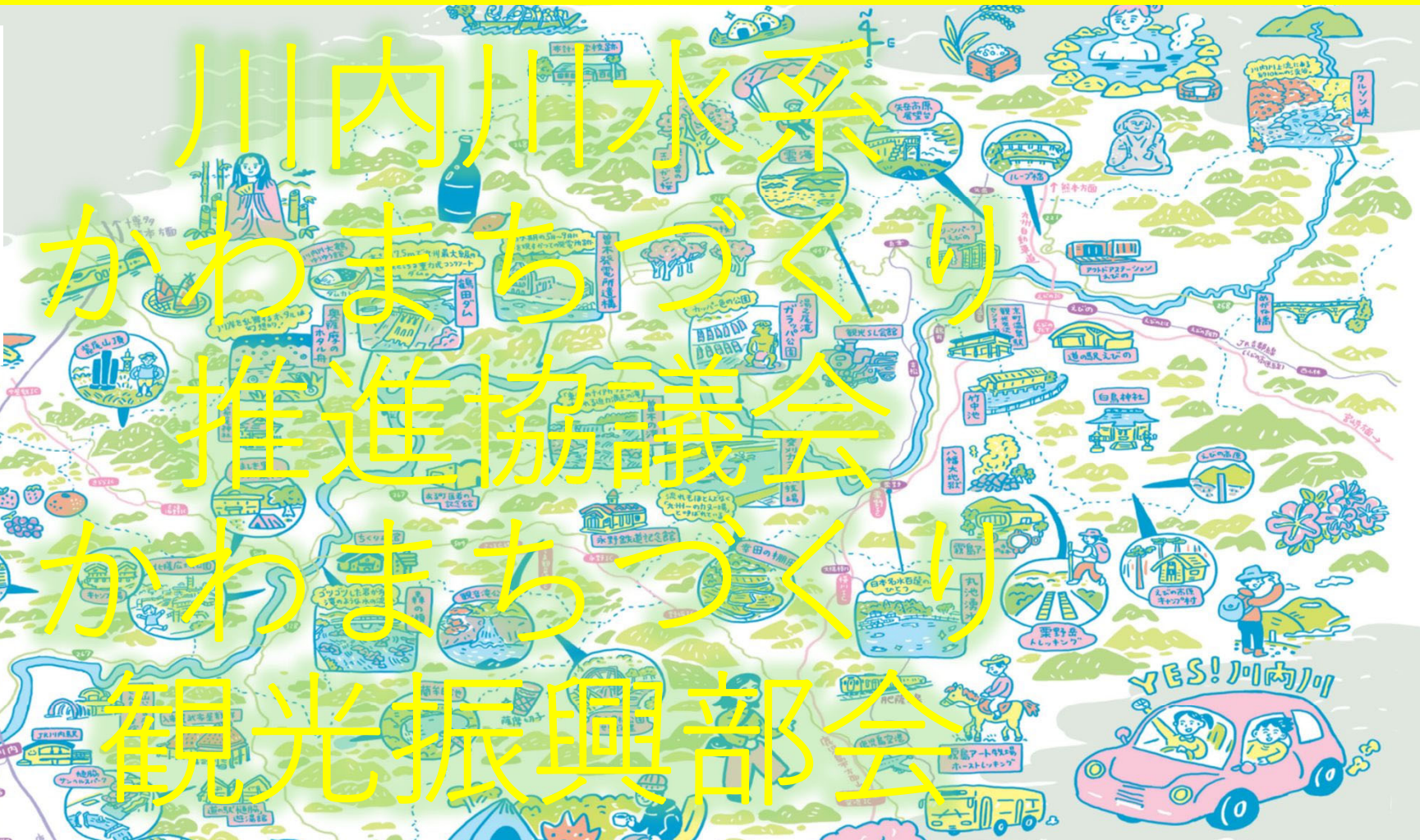
選定された民間事業者にて**運営**

川内川水系かわまちづくり推進協議会

（かわまちづくり観光振興部会）



川内川水系 かわまちづくり 推進協議会 かわまちづくり 観光振興部会



～ 川内川流域における観光振興の取り組み ～



川内川水系かわまちづくり推進協議会 かわまちづくり観光振興部会

設立

平成29年6月

目的

川内川かわまちづくりを中心とした
①川内川ブランドを確立
②交流人口及び物産販路等を拡大
③地域経済の発展・活性化

構成団体

10団体

市町

薩摩川内市 さつま町 伊佐市 湧水町 えびの市

県

北薩地域振興局 始良・伊佐地域振興局 小林土木事務所

国

川内川河川事務所 鶴田ダム管理所

取組事例

流域内外でのPR
ホームページ、ノベルティ制作
スタンプラリーの実施
インフルエンサーを活用したPR
交流人口創出のための民間団体事業者の交流事業 . . .



川内川水系かわまちづくり推進協議会 かわまちづくり観光振興部会

R7. 10. 12 (日) 「スパークフェス」 @えびの市京町地区河川公園キャンプ場





川内川水系かわまちづくり推進協議会 かわまちづくり観光振興部会

R7. 10. 13（月・祝） 「パラカヌー体験会」 @伊佐市菱刈カヌー競技場





川内川水系かわまちづくり推進協議会 かわまちづくり観光振興部会



R 7 「水辺で乾杯」 @ 5 市町全域



川内川水系かわまちづくり推進協議会 かわまちづくり観光振興部会

令和7年度の取り組み

1 流域観光PR事業

2 川内川流域観光連携コーディネート事業



川内川水系かわまちづくり推進協議会 かわまちづくり観光振興部会

令和 7 年度取り組み

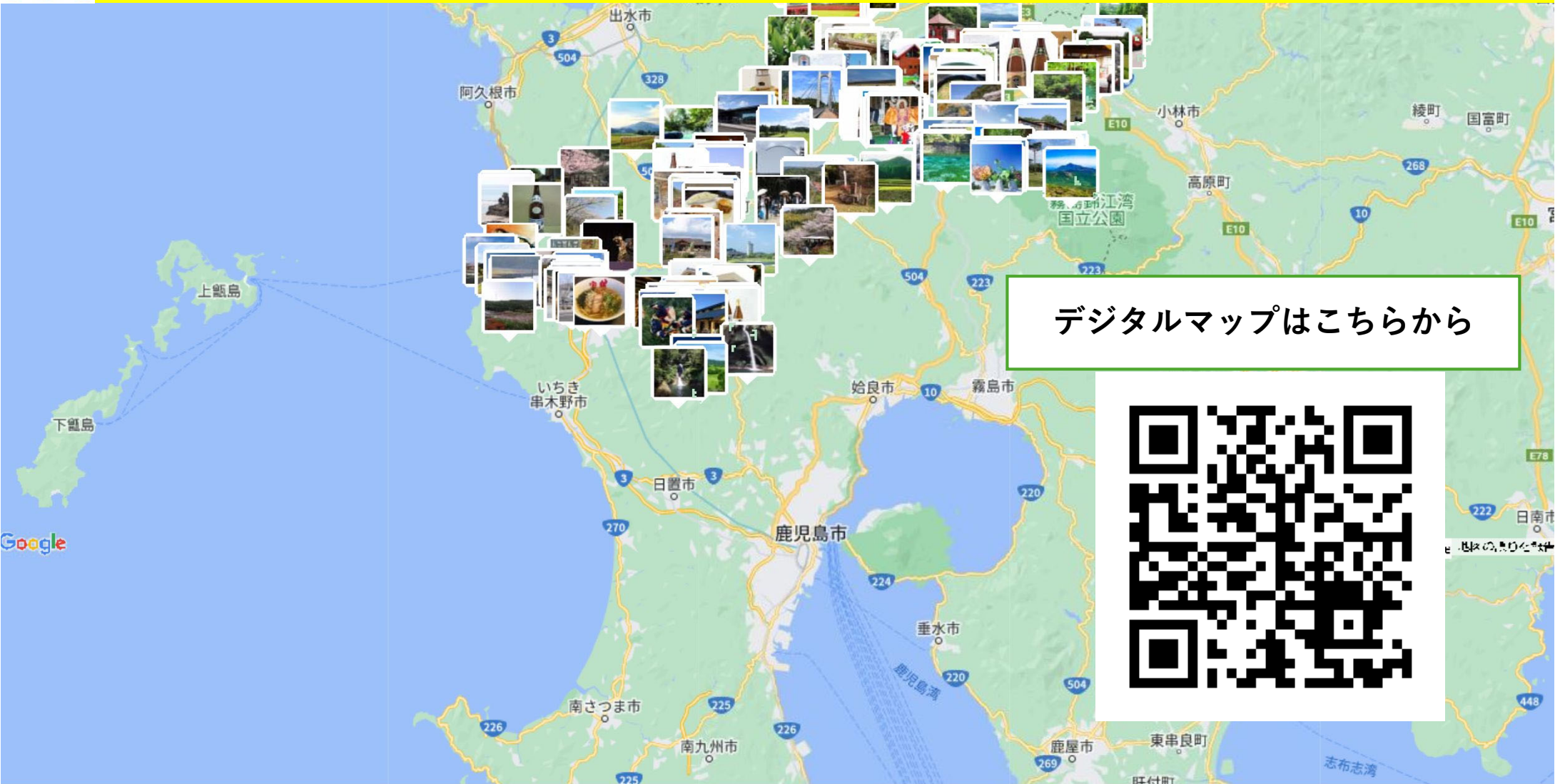
1 流域観光PR事業

① 70 名に流域内特産品が当たる！
スマホで楽しむ川内川流域スタンプラリー

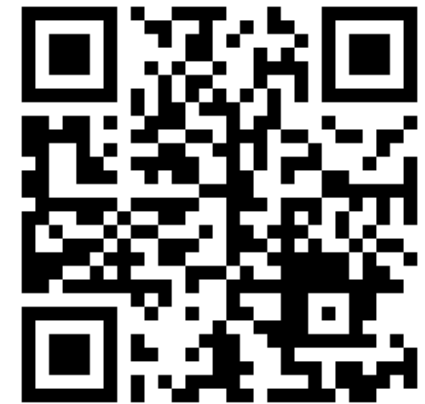
令和 5 年度制作した川内川流域の観光デジタルMAPを観光誘客促進のため活用。



川内川水系かわまちづくり推進協議会 かわまちづくり観光振興部会



デジタルマップはこちらから





周 遊 スマホで楽しむ！ 川内川 スタンブラリー

川内川流域内の景勝地・史跡・物産館など、観光情報が盛りだくさんのデジタルマップを利用して、薩摩川内市・さつま町・伊佐市・湧水町・えびの市の特産品が抽選で当たるデジタルスタンブラリー開催します。

70名様に当たる！特産品をプレゼント！

獲得したスタンプ数に応じて、3つのコースからご応募いただけます。
当選者の発表は賞品の発送をもってかえさせていただきます。

- スタンプ7個 50,000円相当・・・2名様
- スタンプ5個 10,000円相当・・・10名様
- スタンプ3個 5,000円相当・・・58名様

川内川水系がわまちづくり推進協議会
かわまちづくり観光振興部会
TEL：0996-23-5111 8：30～17：15（土日祝除く）

※各の特産品はイメージ写真です。※各賞品を複数購入する事はできません。

Instagram  デジタルマップ  MIZBERING 川内川

参加方法

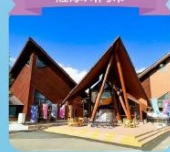
step1 川内川をドライブして、スタンブラリースポットへ向かいます。

step2 スポット内に設置されたQRコードを読み込みます。

step3 最大で10スタンプ集められ、「景品と交換」から応募をお願いします。

step4 応募者の中から抽選で、川内川流域の特産品をご自宅にお届けします！

スタンブラリースポット一覧

薩摩川内市  道の駅「薩摩」観光館	薩摩川内市  駅市 薩摩川内	さつま町  川内川大観やうゆう屋
さつま町  さつま物産館	伊佐市  曾木の滝観光案内所	伊佐市  お肉の唐売所 伊佐
湧水町  くりの物産館	湧水町  吉田物産館ふれあい市場	えびの市  足湯の駅えびの高原
えびの市  アウトドアステーションえびの		

スタンブラリー期間終了後もデジタルマップは変わらずお使いいただけます。

川内川の魅力がたくさん詰まっていますので、どんどん活用して、あなただけの川内川の楽しみ方を見つけてください。

 デジタルマップ

264名からの
申し込み



抽選にて77名に
流域特産品を送付

令和7年度の取り組み

1 流域観光PR事業（つづき）

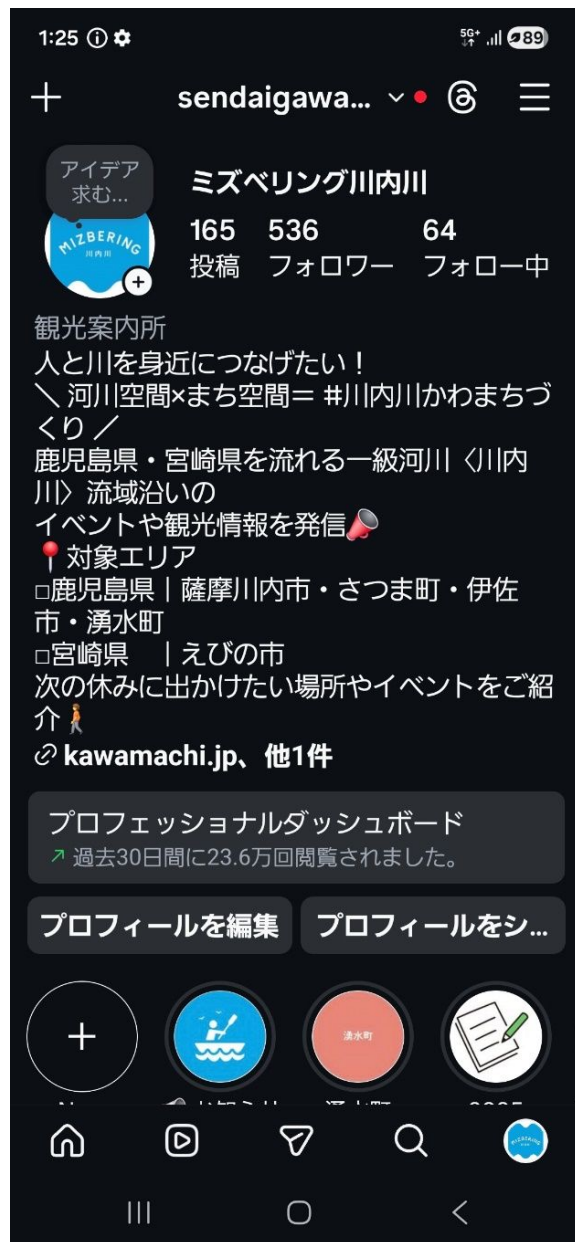
②メディアを活用した情報発信

◆SNSでの情報発信の開始

公式インスタグラムを開設し、毎週流域内の情報を発信

◆テレビ番組内での情報発信（川内川流域スタンプラリー）

メディア	放送日	出演者
■MBCラジオ	8月7日（木） 「城山スズメ」 15：00～15：10	薩摩川内市観光物産課 宮崎 G 員
■KKB	8月12日（火） 「おやっと！」 11:55～12：00の間	薩摩川内市観光物産課 宮崎 G 員 伊佐市地域振興課 新原事務主査 川内川河川事務所 牛島・宮崎 氏
■フレンズFM	8月12日（火） 「フレンズルーム」 16：30～17：00	薩摩川内市観光物産課 宮崎 G 員
■KYT	8月16日（土） 「かごピタFAMILIAR」 9時25分～10時25分（後半10時以降）	薩摩川内市観光物産課 宮崎 G 員 伊佐市地域振興課 新原事務主査 川内川河川事務所 牛島・宮崎 氏
■MBCラジオ	9月18日（木） 「ポニーのスマイル中継」 8：40～9：10	薩摩川内市観光物産課 宮崎 G 員 伊佐市 イーサキング



公式Instagram
ミズベリング川内川



Sendaigawa.3zbe

令和7年度の取り組み

2 川内川流域観光連携コーディネート事業

- 目的 ①川内川流域のブランド向上
②関係人口創出の機会創出



◆流域内市町のふるさと納税情報発信

◆流域連携イベント「スパークフェス@えびの市」の開催

日 時 10月12日（日）

場 所 京町地区河川公園（えびの市大字向江）

参加者 県内外から206名

協 力 えびの市民の方々、流域内中心の飲食店・店舗、地元中心のアーティスト

◆その他流域内イベント支援

- ・パラカヌー体験会@伊佐市
- ・せんでふえす@薩摩川内市

川内川流域で今後強化したいこと

流域内外の交流人口の拡大による経済効果

民間レベルの交流の強化

民間活動の活性化の支援

官民の関係性の強化